

第21回（令和6年度 第2回）山県市子ども・子育て会議 議事要旨

【日 時】 令和6年11月28日（木）15:00～17:00

【場 所】 山県市保健福祉ふれあいセンター 3階ボランティア室

【委員等】 （委 員） 三輪 聖子 （岐阜女子大学家政学部生活科学科）《会長》
藤田 淳 （山県市PTA連合会代表（いわ桜小学校PTA会長））
柏木満美子 （児童養護施設若松学園長）
山田 篤子 （主任児童委員代表）
川島 誠 （小中学校校長会長（伊自良北小学校長））
河野 隆 （はなぞの北幼稚園長）
堀 貴子 （保育園長代表（富波保育園長））
辻 佳代 （保育園保護者代表（高富保育園））
管野さやか （公募による市民）
大西 義彦 （生涯学習課長）
平工 雅之 （学校教育課長）
岩田 豊実 （福祉課長）
大西 美紀 （こどもげんきはうす館長）
丹羽 洋子 （高富児童館館長兼子育て支援センター所長）
大村 統子 （山県市こどもサポートセンター所長）
※大西（義）委員、辻委員欠席

（事務局） 正治 裕樹 （山県市子育て支援課長）
辻 千津子 （山県市子育て支援課課長補佐）
毛利佐知子 （山県市子育て支援課課長補佐）
酒井 香織 （山県市子育て支援課課長補佐）
梅田 寛之 （山県市子育て支援課係長）
塚本 愛 （山県市子育て支援課係長）
村山 洋志 （アトリエゆまあひチーフプランナー）

- 【次 第】 1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 委嘱状（任命書）の交付
4. 議事
（1）会長・副会長の選出
（2）こども計画の策定について （資料1）
（3）山県市こども計画策定スケジュール （資料2）
（4）山県市（北部地域）の保育のあり方と地域のかかわりについての検討
（部会の設置について） （資料3）
5. 閉会

■ 開会（進行：子育て支援課）

・本会議を公開すること、傍聴席を設けること（傍聴者はなし）、音声録音・写真撮影する旨の説明、資料確認

■ 委嘱状交付

■ 市長あいさつ

※資料および出席人員の確認

■議事（１）会長・副会長の選出

■議事（２）こども計画の策定について

- 会長 それでは議事(1)「こども計画の策定について」について事務局より説明をお願いする。

～ 資料1について事務局より説明 ～

- 会長 盛りだくさんの内容。どこでもいいのでご意見・ご質問等を出して頂きたい。
- 委員 P36に「父親・母親学級」とあるが、これは父親学級、母親学級、父親母親学級のどれにあたるのか。
- 事務局 双方に該当する父親母親学級という理解でお願いしたい。
- 委員 これからは夫婦相互のアシストが必要になってくる。P53⑤に「父親の子育ての促進」とあるが、父親も一緒になって子育てをする、それが当たり前になっていかないといけない。「父親が参加する」という視点ではいけない、表題が気になるので見直しをして頂きたい。また、P39に記載のある一時預かりについてだが、保育園は余裕活用型の一択になっている。高富では一時預かりを頼んでも断られるという声もある。ファミリーサポート、こども誰でも通園制度などを活用しながらということになる。利用者としては安くて安全なところを選ぶと思うが、どう考えるべきか。
- 事務局 ファミリーサポートを紹介する形になっている。0歳児の要望が多い。0歳児は高富方面で一杯になっており対応できていない部分はあるかと思う。
- 会長 0歳児に関しては来年も再来年も続いていくのだろう。
- 事務局 保育料は無料となっているが、高富保育園ではアップを定めている。市内残り5園で超早期の対応は現実的には難しい。保護者のニーズは「近い所で」ということだろうと思うが、こども誰でも通園制度を活用しながらバランスをとってやっていきたい。
- 委員 ファミリーサポートの対象年齢は1歳。0歳児は対象になっていない。また、祝日のニーズに対応できていない。働き方が多様化しているなかでサービス提供サイドも対応していかなければならない。
- 会長 保育園では月曜から土曜まではOKだが、祝日については現在対応できていないか。
- 事務局 保育園は土曜もやっていない。また、土曜にやっているファミリーサポートも少ない。土日は家族でこどもをみるという世論になってきていると思う。支援を提供するサイドのことも考えないといけない。各現場は一生懸命やっているが、今を充実させることに専念したい。現実には難しい。
- 会長 できれば実現して欲しいところではありますが、難しい面があるとのこと。
- 委員 たくさんのサービスをやってもらっている。それらの情報をいかに市民に伝えていくかを考えていく必要がある。困った時にサインを出している家庭がある。それを見つけて、上手に振り分けながらサービスを提供できていけばよいと思

う。また、子育てに関する不安感、困り感への対処が必要ではないかと思う。乳幼児の時からママ友とのつながりも重要であり、同じ悩みを持つ母親がつながり合うことが大切ではないかと思う。あと、ショートステイについてだが、頻回に同じ人が活用している。ニーズが多い所で活用しているということかもしれないが、1年を通じてサービスが安定的に回るようにして欲しい。

○会長 情報発信について市としてはどう考えているか。

○事務局 ホームページや広報誌で周知はしているが、十分ではないかもしれない。山県市のLINEもできているのでそういったものもPRしていきたい。そして、こども家庭センターに行けば、相談に乗ってくれるということを普及していきたい。

○事務局 年間10人程度になっているが、生まれてすぐに「さくらっこナビ」に入ってもらっている。その時期に情報を提供していく。こどもサポートセンターも既に情報提供をやっている。山県市はいろいろな窓口を作っている。なお、山県市はトワイライト等の実績は少ないが、ニーズがあれば実行していく予定ではある。

○委員 ワンストップ窓口はとても良い。こども家庭センターについても理解できる。しかし、こどもサポートセンターの言葉が無いのが少し寂しい。また、学校サイドから気になる点を述べるが、P41に「いじめ、不登校」にかかる記載がある。学校だけでは解決できないケースも出てきている。そのため、「他機関との連携」の考え方を入れて欲しい。また、P46の「防災教育」についても力を注いでやってきた。今年も6回やっている。大事なことである。防災教育も学校だけで対応できるものではなく、「地域の皆さんの参加」が必要であり、地域の中で一緒に防災をやって欲しいと考えている。その意味で「地域防災」なのではないかと感じている。また、P46に「安全安心なインターネット環境の実現」とある。中学校では期末テストに合わせてノーゲームデー、ノースマホデーをやっている。また、防犯に関してだが、伊自良ではできていないように感じる。施策として入れるのであれば、具体的にどのようにしていくのかまで考えないといけないように気がする。下校時の見守りをするとして、人材の確保をどうしていくかなど具体的に詰めていかないといけないと思う。

○事務局 P54に記述があるが、「こどもサポートセンター」は山県市独自のもの。こどもが行きやすいように事業を推進していきたい。

○委員 「こども家庭センター」が設置される前から「こどもサポートセンター」はあった。P46「ひきこもり」の所で、「開室」とあるが「開設」の方がより分かりやすく伝わると思う。また、P41「いじめや不登校」については、その子の状態に応じてやっているというニュアンスが伝わるのではないかなと思う。

○委員 見守りについて先程言及があったが、それを「地域ボランティア」と言われると難しいように思う。

○委員 こども家庭センターができるということで、未就園児から高校生まで長い目で見るができる体制になればよいと思う。ここに行ったら、何でも聞いて対応してくれる窓口になって欲しい。もっと大々的に打ち出してPRしてもいいのではないかな。

○委員 P48に誤字がある「呼びかけいきます」→「呼びかけていきます」。また同じページにある「⑩特別支援教育」については、担当課に福祉課も入れるとよいの

ではないか。

○委員 P44「基本施策3青年期」の「③高齢者との交流事業」は「ライフステージ全般」の方に移動した方が良いのではないかと思います。こどもげんきはうす、こどもの居場所づくりなど、山口市はお母さんが働ける充実した市である。一方で、こどもと母親が一緒にいる時間の確保は難しくなっている。放課後児童クラブに来るこどもは、本当は行きたいとは思っておらず、親と一緒にいたいと思っている。その意味で、企業への働きかけも大切なことではないかと思う。

○委員 発達障害が多いと思う。そのため、他機関との連携が大事だと感じている。切れ目ない施策ということで、しっかり取り組んで頂けると嬉しい。

○委員 特にないが、教育相談員の配置などもあるが、いろいろな場面で協力しながらやっていくことが大切ではないかと思う。

○委員 山口市は手厚いサービスでありがたい。一方で、量の見込み、こどもの数の将来推計も少ない。入学する小学生が1名のところもあり、そろそろ0名になるかもしれない状況にあるようだ。この計画そのものの意味も考えさせられる。P46「安全安心はインターネット環境の実現」の所だが、「SNS」という言葉をどこかで入れておいた方が良いと思う。

○委員 こども計画は、国・こども家庭庁が「やれ」と言ったことを書いてありどの自治体も同じである。山口市は日本一の特徴を見出しPRできる計画になればいいのではないかと思います。P12に離婚率が高くなっていることが示されているが、そうなった理由は何だったのかを掘り下げるなど、パートナーの維持に関して言及があってもいいのではないかと感じた。また、お父さんが置いてけぼりにならないような対策もあってもいいのではないかと思います。P36に「サポートファイルの配付」とあるが、今後詳しく聞きたいと思う。

○委員 切れ目ない手厚いサポートということだが、高校生で学校に行けなくなった生徒もいる。そういう生徒の親へのサポートが薄いような気がする。山県高校の生徒さんも、成人になるまでサポートすることを前面に出してPRしていったらどうかと思う。

○会長 実現可能なもの、そうでないものもある。こどもの幸せの実現に向けて計画を組み上げて欲しい。それでは今後のスケジュールと部会の設置について事務局より説明をお願いします。

～ 今後のスケジュールと部会の設置について事務局より説明 ～

○会長 部会の設置ということだが、名称はどうなるのか。

○事務局 これから検討していく。

○会長 部会の設置についてはお認め頂いたということで宜しいか。それでは本日の議事・報告事項はこれで終了し、事務局にお返しする。

○事務局 本日ご発言頂けなかったことについては、週明けの12月2日までに事務局へ寄せて頂ければと思う。次回の日程はまた連絡させて頂きたい。

■閉会

(終了 17:00)